

取材・執筆
川上昇吾

福利厚生、研修制度の積極活用のために スキル、キャリアアップの重要性を説く ——エヌエフエー 後編

「自分の時間が欲しい」

「他社と比べて特段すごい福利厚生があるわけではありません。福利厚生サービス会社と提携して、映画のチケットや外食が安くなる、資格取得支援制度があることを電子版の社内報で情報発信してきましたが、実際はあまり使われていないようです」（以下、大崎氏）。

ある芸能の道に進まれた方もいました」。

「社外では、創業80年を越す地元スーパーに派遣されたAさん。レジ打ちからスタートしたのですが、陳列、配達、呼び込みと次々に仕事を覚えてみずから職域を広げていきました。派遣当初のAさんの印象は『若干頼りなさを感じる』という評価でしたが、派遣で働くようになって2年が経つと、店舗での仕事は何でも一通りこなせるようになり、その時、派遣先の社長から『Aさんを正社員として採用したい』という申し出を受けました。現在では取締役として活躍されています。卒業して、ほかの会社で正社員就職する、あるいは独立起業をする人もいました。当然、他の派遣会社にもいった人もいますが、私は卒業して終わりだと考えていません。当社にご登録されている間はずっと仲間だと思っています」。

今後の展開等について。

「引き続き、めげずに、スキルアップ、キャリアアップの重要性を説いていきたいですね」。



卒業者たちの事例

。こちらは福利厚生になり
が、歓迎会やサマーパーテ
忘年会等のイベントをはじ
営業担当者による定期訪問・
面談、スタッフマイページ
毎月発行の給与明細への一言
ント、隔月発行の社内報『ハ
わくおさん』等、機会を見
は様々な案内をしています。
強調したいのは、当社では
営業や研修部門を強化する
で、派遣先での仕事がない
も、希望すれば当社の内勤
仕事や直営事業で就業がで
きるという点で、そこで内
勤社員と同じ研修を受講で
き、OJTによってスキル
を高める取り組みを行って
います」。

負しています」。

「当社には内勤の社員が約40名いますが、その約7割が派遣からの正社員就職です。その中には、当社の部長職に就いている者もあり、皆さん社内外で活躍されています。少し変わったところでは、ご自身の夢で

42